

第9回：在宅医療カフェ（湖北町エリア）の意見交換会

開催日時 平成28年6月25日（土）14:30～16:40
場所 湖北公民館
参加者 25人（地域住民：8人 医療福祉行政関係者：17人）

《1Gの意見交換》

目標：世代間交流ができる地域づくり

スローガン：笑って楽しく町づくり

●イベント、催しの開催（スポーツ、祭り文化交流など）

- ◇ 地域の祭りやスポーツ大会、盆踊りなどのイベントを復活させる
- ◇ 文化交流、サロン事業
- ◇ 上記のようなイベントを三世代でなど、世代間交流にする
- ◇ 学校のイベントでの交流
- ◇ 昔の遊びを子供から高齢者で一緒にできるイベントの開催
- ◇ 高齢者にイベント協力してもらう

●子供の見守り活動

- ◇ 地域の子供たちの見守り活動をする
- ◇ 登下校の見守り
- ◇ 親世代と共に横断時の見守りなどをする

●地域の見守りづくり

- ◇ 独居や高齢者世帯への声掛け、在宅訪問（2人）

●環境作り

- ◇ どの世代も利用できる公園

●高齢者の活躍の場作り

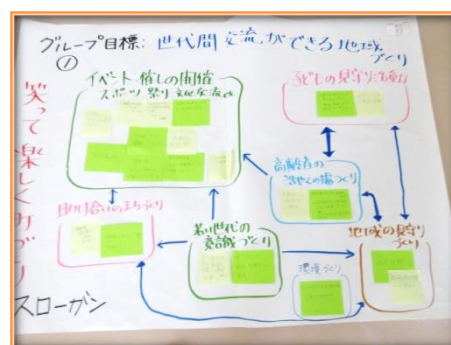
- ◇ 高齢者による子育て世代への協力
- ◇ 子供を育てるサポート（保育園不足を解消するための居場所作り、異世代が集まれる場所作り）

●若い世代の意識作り

- ◇ 高齢世帯への奉仕活動（草むしりなど）
- ◇ ボランティアの意識、習慣をつける教育

●助け合いの町づくり

- ◇ 空き缶拾いなどの清掃作業（子供会、老人会）
- ◇ 地域を支える活動



《2 グループ》

目標：訪問（訪ねてもらえる）や集まりの場がある地域づくり

スローガン：1日1回笑顔であいさつ

●若い世代も現状を知る

- ◇ 若い世代（働く世代）の人もこの高齢化や認知症問題をまずは知る（2人）
- ◇ 認知症について学べる場を作る、認知症サポーター養成講座の開催（2人）
- ◇ 学ぶことで、偏見を持たず、助け合う方法を知る

●声をかける

- ◇ 近所の独居、高齢世帯へ定期的に訪問し顔を見に行く
- ◇ 気にかけて、気軽に声掛け、あいさつをする
- ◇ 訪問活動を行い、話を聞く

●環境を整える

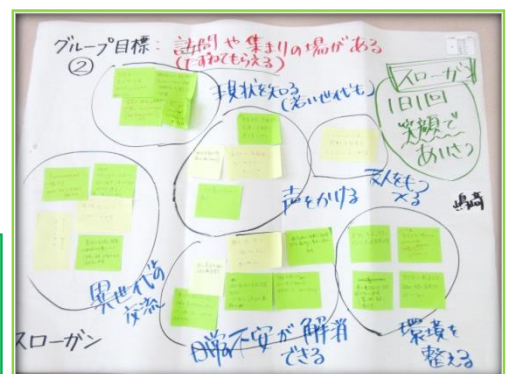
- ◇ 買い物や受診に気軽に行ける交通機関の充実、車に乗らなくても生活に困らない地域（2人）
- ◇ 交流を持つ為のバリアフリーな場所を作る（まだまだ自治会館であっても段差などが多い）
- ◇ 空き家を安価で貸出、住居を提供

●日常生活の不安が解消できる

- ◇ 買い物など自分が行く時に声掛けし、一緒に行くなど用を聞く。（ゴミだしなども）（2人）
- ◇ 困ったときに気軽に相談できる、場所や相手が身近にある。（2人）
- ◇ 困ったときにすぐに訪問し次につなげる

●異世代との交流

- ◇ 子供たちと触れ合える場作り（たとえばサロンと子供会が一緒になる）
- ◇ 子育てしやすい環境作り（遊び場所、子育て世代も住みやすい環境）
- ◇ 親と一緒に住む環境
- ◇ 集まれる場づくり
- ◇ 負担にならない程度に自ら地域の行事に参加していく（お祭り、お寺、お宮さん、自治会役員）
- ◇ いくつになっても遊べる友達を作る



《3 グループ》

目標：地域の絆を深めよう

スローガン：みんなで仲良く

●イベント

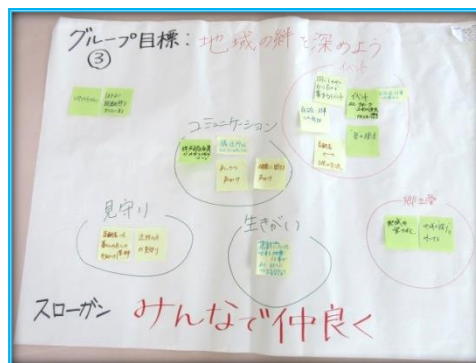
- ◇ 自治会、行事への参加（2人）
- ◇ 祭りの復活、三世代交流、イルミネーション、ウォークなどのイベント開催（2人）
- ◇ 高齢者と子供の交流
- ◇ 同じ趣味を持つ方々が集まるイベント

●郷土愛

- ◇ 地域の宝さがし、誇りを見つける。（2人）

●コミュニケーション

- ◇ あいさつ、声掛け
- ◇ 隣近所とのコミュニケーション
- ◇ 健康に関する声掛け
- ◇ 井戸端会議できる場所作り



●生きがい

- ◇ 地域の人と一緒にできる仕事があり、収入につながるようなことがあるとよい

●見守り

- ◇ 高齢者一人暮らしの方への手助け（買い物など）
- ◇ 近所の方の見守り

●他

- ◇ 嫌がらない
- ◇ ほどよい距離感を大切にする



《4 グループ》

目標：やわらかい心を持って人と交流する

スローガン：今から「この人やったら話せる!!」という人と繋がる。どんな立場になっても、人と繋がる順応する心を持つ

●自分の事、家族の事を知ってもらう

- ◇ 支援する人、される人の区別を少なくする
- ◇ 自分(高齢本人)のことを人に話しておく

●ご近所の方を気に掛ける

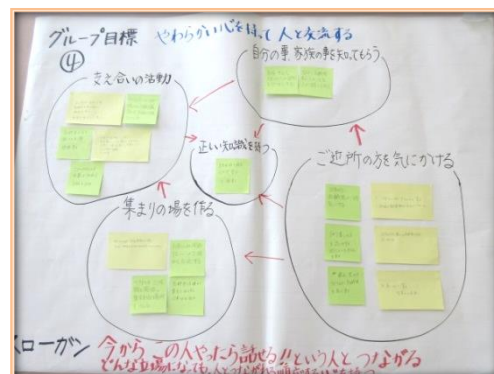
- ◇ ゴミだしなどできることをする
- ◇ 新聞や郵便物がたまっていないか日常的に気に掛ける（4人）
- ◇ 挨拶をする
- ◇ 最近見かけなくなった高齢者を気にする

●正しい知識を持つ

- ◇ 認知症の病気について学ぶ、啓発

●集まりの場をつくる

- ◇ 娘2人なので老後が心配。今から地域の人とのつながりを作りたい
- ◇ 高齢者が集まっておられる行事などを知る



- ◇ お茶のみ関係でもいいので誰かと交流する
- ◇ 公民館などを開放し集まれる場所を作る
- 支え合いの活動
- ◇ この地域の方の暮らしぶりを知って課題を把握
- ◇ 高齢者の困りごとを聞き把握
- ◇ 自治会か地域づくり協議会でお助け隊を作る
- ◇ 子供が地域にいない（自分たちが一人暮らしになっても子供が帰ってくるとは考えにくい）



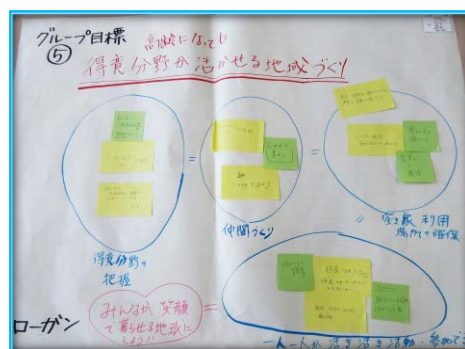
《5 グループ》

目標：高齢になっても得意分野が活かせる地域づくり

（特に男性の定年退職後、目標がなくなりうつになりやすい為活躍の場づくり）

スローガン：みんなが笑顔で暮らせる地域にしよう!!

- 得意分野の把握
- ◇ 自治会で情報収集
- ◇ ボランティア、シルバーの登録
- 仲間づくり
- ◇ 趣味を活かす（2人）
- ◇ ボランティア、シルバーへの参加
- 空き家利用、場所の確保
- ◇ いつでも誰でも参加できるような場所作り（2人）
- ◇ 男性、女性が参加したいと思える活動の場づくり
- ◇ 空き家の提供
- 一人ひとりが生き生き活動、参加できる
- ◇ 野菜(畑)作りで特産物が加工できないか
- ◇ 趣味、特技が活かせる活動
- ◇ シルバーで困っている人の葉刈りをする、その指導



※ 以上ポスターから引用 文責 池野